



被災前後に撮影した都市域空撮画像の位置合わせ手法

佐治齊¹⁾、田村裕之²⁾、小林真紀³⁾

- 1) 正会員 静岡大学創造科学技術大学院、教授 博（理）
e-mail : saji@inf.shizuoka.ac.jp
- 2) 総務省消防庁消防研究センター大規模火災研究室、室長
e-mail : tamura@fri.go.jp
- 3) 静岡大学大学院情報学研究科
e-mail : gs09020@s.inf.shizuoka.ac.jp

要 約

大規模災害後の都市域における被災地周辺の広域情報を、空撮画像を用い自動解析する研究が数多くなされている。それらの中で、災害前後に撮影された画像の統合や、画像と地図の統合により被災地情報を取得するものがいくつか提案されているが、これを自動化するためには画像間の自動位置合わせ手法が必要となる。本研究では、都市域において災害前後に撮影された空撮画像の自動位置合わせ手法を新たに提案する。具体的には、災害前後の空撮画像内から被災前後で変化の少ない特徴点を自動抽出し、その特徴点の位置情報と幾何学変換を用いて自動位置合わせを行うものである。

キーワード： 災害、都市域、空撮画像、自動位置合わせ